



スズキ、初のフレックス燃料四輪車をインドで発表



スズキ株式会社のインド四輪子会社マルチ・スズキ・インディア社は、スズキ初となるフレックス燃料四輪車「ワゴン R FFV」を発表しました。同技術を搭載した四輪車の量産はインド自動車業界初となります。記念式典はデリー市内のホテルにて、ニティン・ガドカリ 道路交通・高速道路大臣およびハルディーブ・シン・プリ 石油・天然ガス大臣の臨席のもと、行われました。

フレックス燃料車は、エタノールとガソリンの混合比を問わず走行できる車両です。環境面では粒子状物質（PM）の排出低減が可能であり、地域の大气環境改善にも寄与します。

スズキはハイブリッドや BEV、CNG/CBG に加え今回投入するフレックス燃料車など、多様な環境技術の開発を推進しています。今後も各地域のエネルギー事情やお客様のニーズに沿った技術を提供してまいります。

以上